

## 平成 25 年度における退職報償金の支払状況

(退職報償課)

平成 25 年度における退職報償金の支払人数・支払額等について、その概要を以下に紹介します。

### 1 支払状況

平成 25 年度の支払人数は 45,148 人（※1）、支払額は 15,142,801 千円（※1）となっています。前年度に比べると、支払人数で 2,174 人減（4.59% 減）、支払額で 680,439 千円減（4.30% 減）と、いずれも減少しています（図 1）。

1 人当たりの平均支払額については 335 千円となっており、最近 5 か年間の傾向を見ると増加傾向にあります（図 2）。これは、経験を積んだ熟年層団員の割合が増加し、勤務年数が長期化していること（図 4 にて後述）が主要因として考えられます。

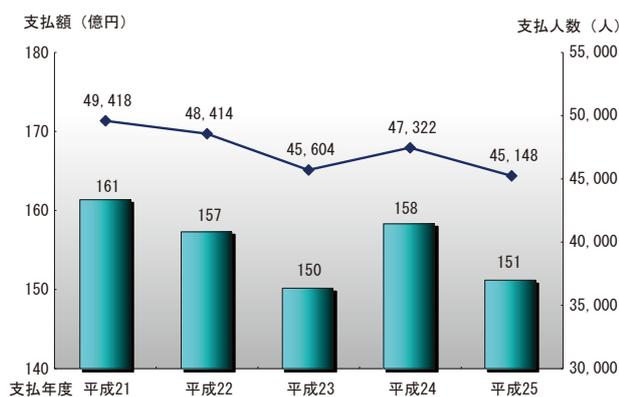


図 1 支払人数と金額（最近 5 か年）



図 2 平均支払額（最近 5 か年）

### 2 支払人数

支払人数について見ると、階級別では、「団員」の 14,746 人（32.7%）が最も多く、続いて「班長」の 10,762 人（23.8%）、「部長」の 9,295 人（20.6%）

の順となっており、この 3 つの階級区分を合わせると全体の 77.1% を占めています（図 3）。階級別支払人数に変化はあまり見られません。

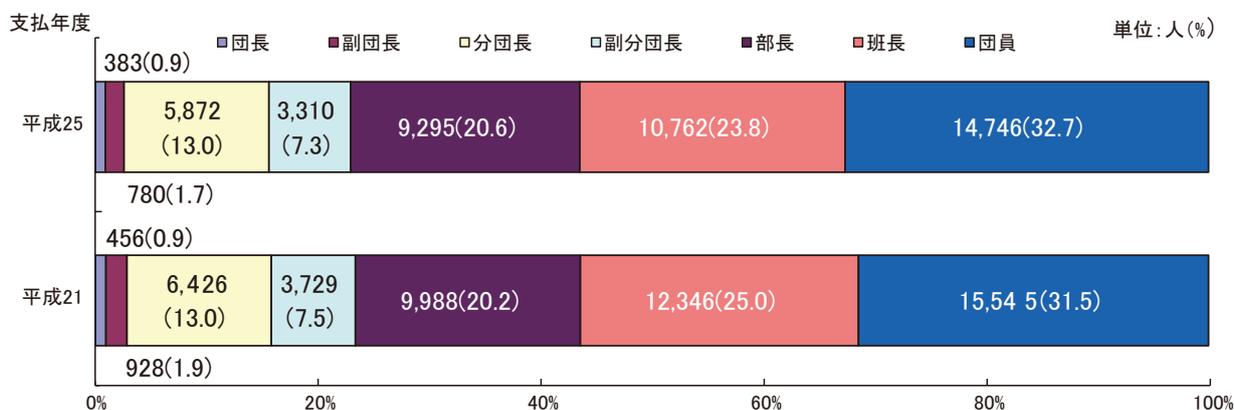


図 3 階級別支払人数

勤務年数別では、「5年以上10年未満」の11,580人(25.6%)が最も多く、続いて「10年以上15年未満」の9,901人(21.9%)、「15年以上20年未満」の8,252人(18.3%)の順となっております、この

3つの勤務年数区分を合わせると全体の65.8%を占めています(図4)。最近5か年を見ると、15年未満が減少傾向であるのに対し、15年以上が増加傾向にあり、勤務年数の長期化が進んでいます。

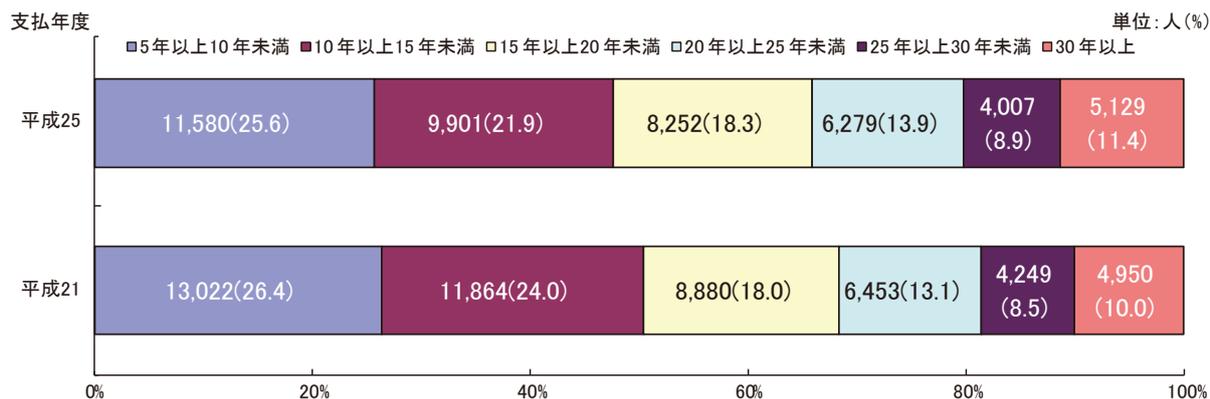


図4 勤務年数別支払人数

現年度・過年度別(※2)では、「過年度退職者」の31,829人(70.5%)に対し、「現年度退職者」は13,319人(29.5%)となっています(図5)。最近5か年を見ると、現年度(過年度)支払人数

の割合は減少(増加)傾向を見せています。この主な要因としては、4月1日退職の団員数に比して3月31日退職の団員数が増加していることが挙げられます。

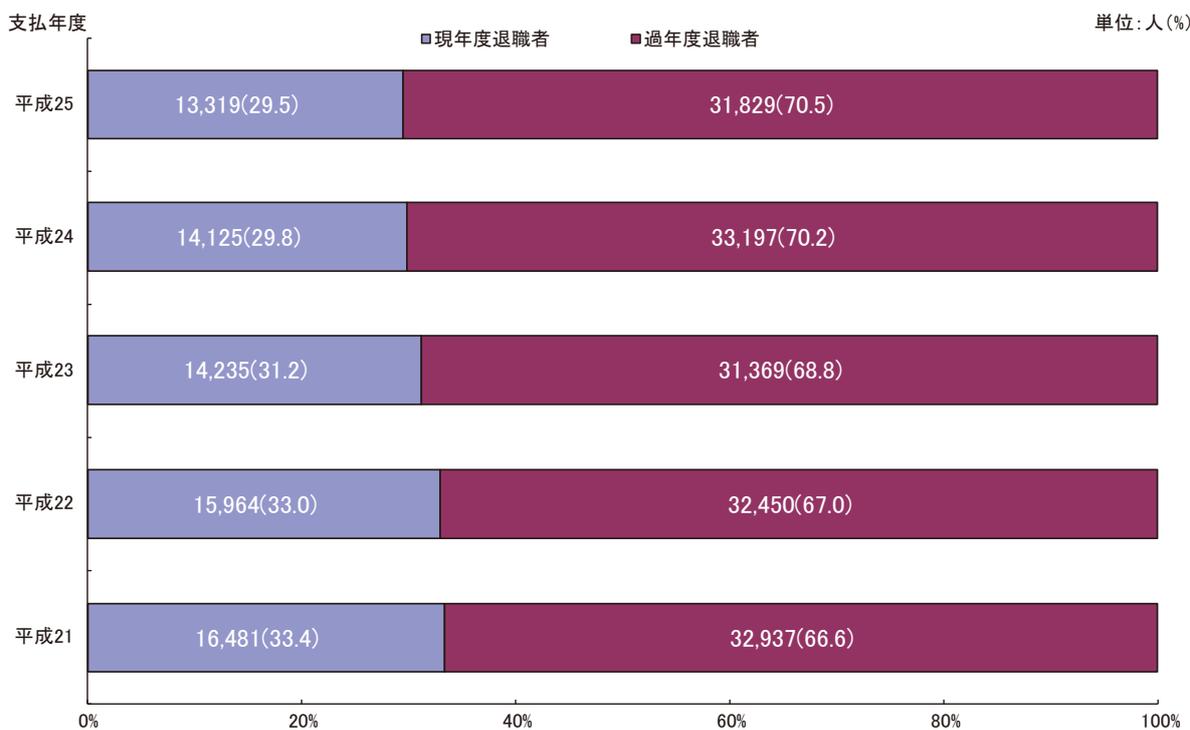


図5 現年度・過年度別支払人数(最近5か年)

### 3 支払額

支払額について見ると、階級別では、「班長」の3,323百万円(21.9%)が最も多く、続いて「部長」

の3,313百万円(21.9%)、「団員」の3,235百万円(21.4%)の順となっており、この3つの階級区分を合わせると全体の65.2%を占めています(図6)。

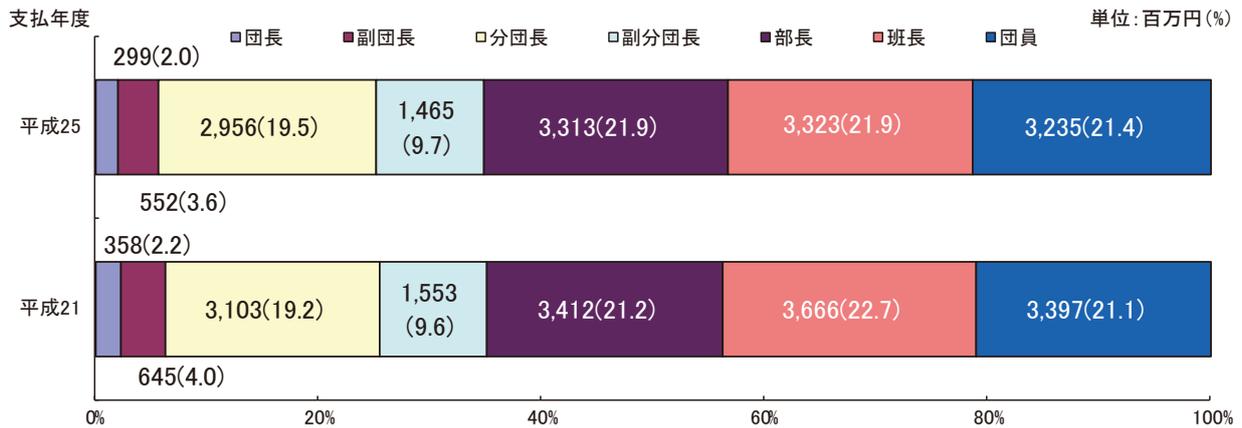


図6 階級別支払額

勤務年数別では、「30年以上」の3,869百万円(25.6%)が最も多く、続いて「15年以上20年未満」の2,581百万円(17.0%)、「20年以上25年未満」の2,525百万円(16.7%)の順となってお

り、この3つの勤務年数区分を合わせると全体の59.3%を占めています(図7)。最近5か年を見ると、20年未満の割合が減少傾向であるのに対し、30年以上の割合が増加傾向にあります。

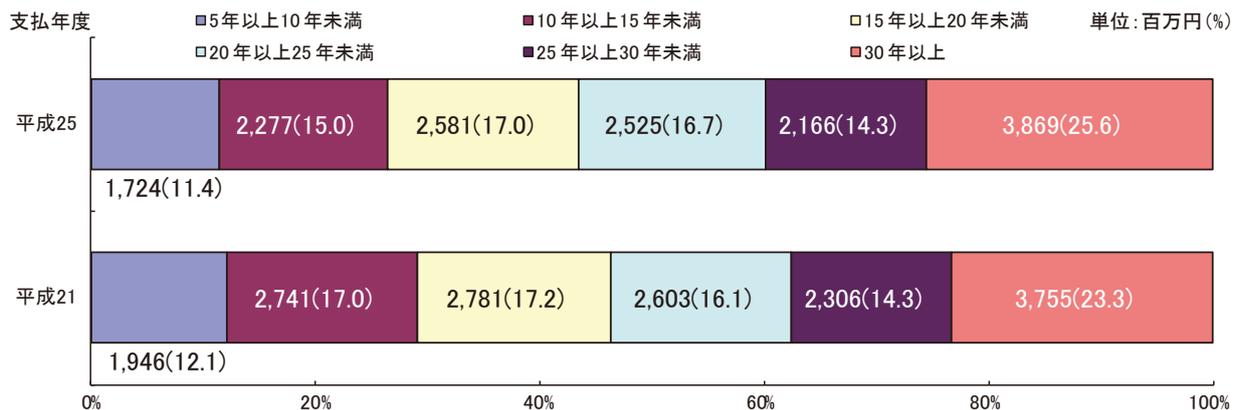


図7 勤務年数別支払額

現年度・過年度別では、「過年度退職者」の10,622百万円(70.1%)に対し、「現年度退職者」

は4,521百万円(29.9%)となっています(図8)。

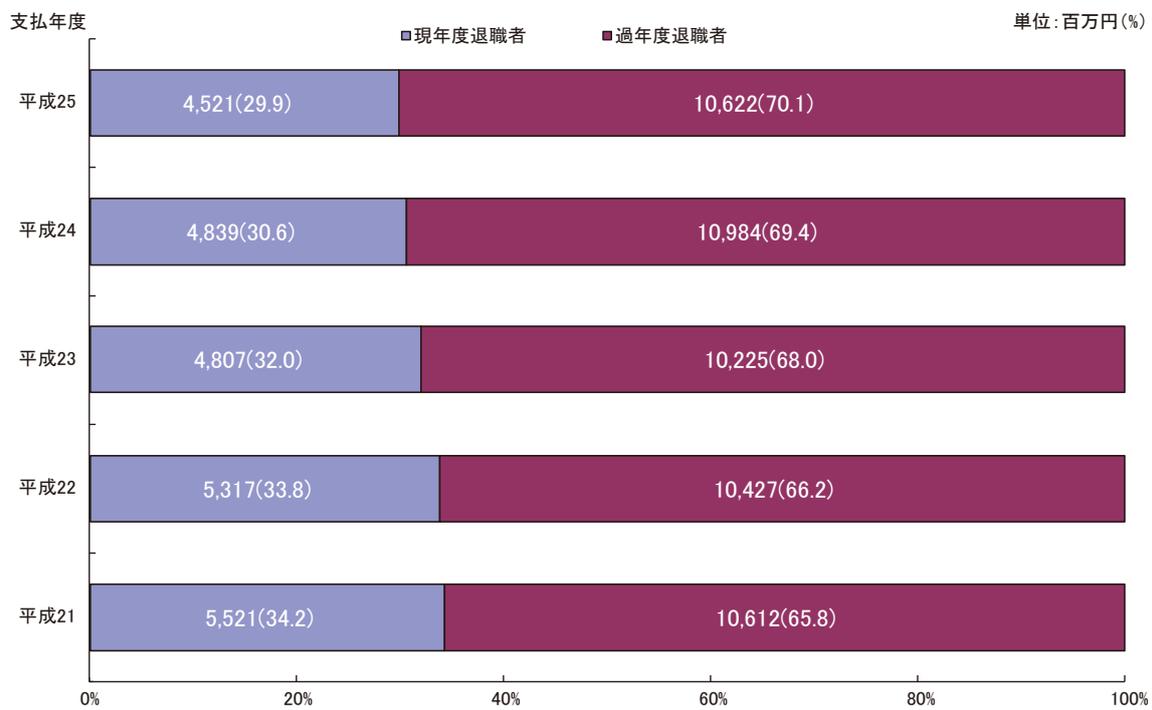


図8 現年度・過年度別支払額 (最近5か年)

- ※1 平成25年度決算の数字から過年度支払者に係る返金分(5人、1,114千円)を差し引いた数字です。
- ※2 一つの支払年度において、当該年度中に退職した者を現年度退職者といい、当該年度前に退職した者を過年度退職者といいます。